

NARO Research Prize Special I

茶「べにふうき」の機能性解明と利用

「べにふうき」活用製品普及促進グループ
山本(前田)万里、根角厚司(野菜茶業研究所)

研究の目的・背景等

アレルギー疾患を持つ国民が3割を超え、疾患による生活の質の低下が社会問題になっている。そこで、「べにふうき」の持つ抗アレルギー作用に着目して、産学官連携により食品・ヘルスケア商品の開発を行った。

研究の概要

メチル化カテキンに抗アレルギー作用があることを明らかにし、その作用機序を解明するとともに、メチル化カテキンを高含有する茶品種「べにふうき」を選定した。「べにふうき」緑茶のアレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎に対する効果をヒト介入試験で実証し、その機能性を利用した食品(飲料、菓子、インスタントティ)、ヘルスケア商品(入浴剤、ボディソープ、クリーム、沐浴剤、ベビーパウダー、石けん、ローションティッシュ)を9メーカーと共同開発し、上市した。



メチル化カテキンの抗アレルギー作用
を活用した「べにふうき」関連製品

メチル化カテキンはマスト細胞内3カ所で抑制的に働き、活性化を阻害して、ヒスタミン放出を抑制する(*J. Immunology* 2004, *Biochem Biophys Res Commun.* 2007)

